

令和3年4月6日 発行



城南第二小だより [NO. 1]

「春の匂い」

校長 森嶋 尚子

心躍る春。
期待に胸膨らむ春。

例年より早い開花となった今年の桜。卒業式には、真っ青な空を背景に淡いピンクが美しいコントラストを描き、巣立とうとする卒業生たちを包み込むように美しい風景が校庭に広がりました。3月24日、87名が卒業生となって城南第二小学校を巣立ちました。地域の皆様には、今後とも卒業生たちを見守っていただきますようお願い申し上げます。

「入学おめでとう。」

「進学おめでとう。」

入学・進学に際し、子どもたち一人一人に、そして保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。厳しい社会情勢の中で迎える2度目の入学式・始業式となりました。困難なことが多い状況ではあるけれど、いろいろなものやこと、より多くの人にかかわって、大事なものをしっかり学んでほしいと切に願っています。子どもたち一人一人の確かな成長・発達のために、教職員一同、一致団結して努力を惜しまぬ覚悟で、日々指導にあたっていく所存です。子どもたちの可能性を引き出し伸ばすためには、子どもを思い、理解しようとする大人の努力が不可欠です。あれもこれもと様々な要求を子どもに押し付けるのではなく、育てる大人側の責任にしっかり目を向けて、子どもの育とうとする内面からの要請を理解し、きちんと受け止めることが何より重要なことだと思っています。この困難な状況にあって、また、学び方が大きく変わろうとしている時にあって、子どもを取り巻く大人たちが知恵を出し合って協力して子どもを育てていくことが何より大切なことだと思っています。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

厳しい制約のある中、卒業式での「校歌」について、「何とか6年生（卒業生）の声を響かせたい。ついてはタブレットを使ってできないだろうか。」とPTA会長に相談させていただいたところ、快く引き受けてくださり、様々な方法・技術を駆使していただき、当日式場に、卒業生87名の校歌斉唱の歌声とともに歌っている表情も映像で披露することができました。スクリーンに映し出された久々のマスク無しの表情と式場に響いた歌声に胸が熱くなる思いでした。このことに関しては、父親の会の皆様に多大なご尽力をいただきました。父親の会の皆様、PTA・保護者の皆様、本当にありがとうございます。この紙面を借りて心よりお礼を申し上げます。

そして、この校歌斉唱の歌声は、今日の入学式にも流しました。卒業生した子どもたちから新たに入学した子どもたちへ、歌声とともにその思いも引き継がれていくだろうことに思いを馳せ、子どもたちの確かな成長を願いました。